



2024年提出インベントリ（2022年度分）への 訪問審査の結果について



- 国連気候変動枠組条約の附属書I国（概ね条約採択時の先進国）は毎年自国の温室効果ガスインベントリを提出する義務を有する。また、途上国を含むパリ協定締約国は、パリ協定第13条における「強化された透明性枠組み」の下で、隔年透明性報告書（Biennial Transparency Report: BTR）を2年に一度提出する義務を有しており、インベントリもBTRにおける報告要素の一つとなっている。提出したBTRは、条約事務局が編成する技術専門家審査チームにより技術専門家審査を受けることになっており、BTRと同年に提出したインベントリについては温室効果ガス排出量及び吸収量が適切に算定されているか等について審査される。また、BTRを提出しない年に提出したインベントリについても条約事務局による簡易審査が実施される。
- 我が国に対しては、2024年4月に提出したインベントリを含むBTR1を対象に、2025年9月8日から9月12日にかけて訪問審査が実施された。
- なお、2025年4月に提出したインベントリに対しては、既に簡易審査が実施されており、その結果は、BTR2審査時の技術専門家審査チームが参照することとなる。

2025年BTR1訪問審査 開催スケジュール①



予定	セッション内容
9/8 (月)	✓ 挨拶等
	✓ BTR1審査のアプローチ・目的（※事務局プレゼン）
	✓ 気候変動政策、緩和行動、制度的／政策的背景における最近の進展（概説） ✓ 日本のNDC、NDC目標に向けた実施・達成の評価
	✓ GHGインベントリ－全般的な事項
	パラレルセッション1
	✓ 将来予測
	✓ 緩和行動 -エネルギー起源CO ₂
	✓ 緩和行動 -フロン、廃棄物、JCM
	✓ 緩和行動 -農業、LULUCF
	パラレルセッション2
	✓ 資金
	✓ 技術移転、能力開発
	✓ TERTミーティング

2025年BTR1訪問審査 開催スケジュール②



予定	セッション内容
9/9 (火)	09:00-10:15 ✓ GHGインベントリ - エネルギー
	10:30-11:45 ✓ GHGインベントリ - IPPU
	12:00-12:45 ✓ GHGインベントリ - 廃棄物
	13:45-14:30 ✓ GHGインベントリ - 農業
	14:45-16:00 ✓ GHGインベントリ - LULUCF
	16:00-18:00 ✓ TERTミーティング
9/10 (水)	09:00-18:00 ✓ 個別ミーティング・TERTミーティング
9/11 (木)	09:00-12:30 ✓ 改善領域案・審査報告書案の作成
	15:30-17:00 ✓ 改善領域に関するプレゼンテーション
	17:00-18:00 ✓ TERTミーティング
9/12 (金)	09:00-17:00 ✓ 改善領域案・審査報告書案の作成・修正

2025年BTR1訪問審査 技術専門家審査チーム（TERT）の構成



氏名	国籍	担当分野
Mr. Mauro Santos	Brazil	リードレビューアー GHGインベントリ – IPPU
Mr. Joel Richard Bengtsson	Sweden	リードレビューアー NDCの実施・達成に向けた進捗評価 政策・措置
Ms. Carmen Teresa Meneses Lopez	Venezuela	GHGインベントリ – エネルギー
Ms. Britta Maria Hoem	Sweden	GHGインベントリ – 農業、全般的事項
Mr. Eray Özdemir	Turkey	GHGインベントリ – LULUCF
Mr. Amr Ahmed	Egypt	GHGインベントリ – 廃棄物
Mr. Matej Gasperic	Slovenia	将来予測
Mr. Yamikani Idrissah	Malawi	BTR全般 資金・技術移転・能力開発支援
Mr. Pedro Miguel Terroa Torres	Portugal	UNFCCC事務局

審査結果（GHGインベントリ）



- 審査週に先立って送付される書面による事前質問、及び1週間にわたる対面での質疑応答の結果、改善領域案が取りまとめられた。
- GHGインベントリ各分野における主な改善領域案の概要を以降のスライドに示す。
(本資料作成時点で審査報告書は編集中であり、最終版とは異なる可能性がある。)

審査結果（GHGインベントリー・エネルギー分野）



カテゴリー	内容
1. エネルギー分野全般	✓ 液化炭酸ガスや地中貯留といったCO ₂ 回収プロセスについて追記する【透明性】。

審査結果 (GHGインベントリ-IPPU分野-CO₂)



カテゴリー	内容
2.A.3 ガラス製造	✓ CRTの表2(I).A-Hで報告されているガラス製造における活動量の値を修正する【正確性】。
2.C.1.a.鉄鋼製造における電気炉の使用	✓ 電気炉の電極からのCO ₂ 排出量から、電気炉ガスに含まれる炭素分を控除している理由を説明すると共に、「2.C.3.アルミニウム生産」からの排出量も、アルミニウム生産が終了した2014年までは電気炉の電極からのCO ₂ 排出量に含まれている旨追記する【透明性】。

審査結果（GHGインベントリー-HFC等4ガス分野）



カテゴリー	内容
2. HFC等4ガス分野全般（HFCs、PFCs）	✓ CRTでの活動量の報告修正。混合HFCs及びPFCsの活動量と回収量について、報告値の一部が質量単位となっており、比較指標のIEF（見かけの排出係数）が正しく算出されていないため、CO ₂ 換算値を報告する【透明性】。
2.F オゾン層破壊物質代替品としての製品用途（HFCs、PFCs）	✓ CRTでの活動量の報告修正。廃棄時の製品に充填された量については、稼働時平均冷媒充填量ではなく、実際の廃棄時平均冷媒充填量を反映した値を報告する【正確性】。 ✓ NIDにおける業務用冷凍空調機器の報告において、全報告年度で製造、使用、廃棄時の加重平均GWPを提示する【透明性】。

審査結果（GHGインベントリー-農業分野）

カテゴリー	内容
3. 農業分野全般	✓ 羊・山羊の頭数推計方法の見直し【正確性】。
3.A.1 牛 (CH ₄)	✓ 2000年度以降の牛の増体日量および体重の算出に日本飼養標準 肉用牛（2022年版）を使用する【正確性】。
3.B 家畜排せつ物管理 (CH ₄ 、N ₂ O)	✓ 家畜排せつ物の焼却に伴うエネルギー回収の割合を把握し、燃料利用分はエネルギー分野に、廃棄分は廃棄物分野に計上する【正確性・完全性】。
3.B 家畜排せつ物管理 (N ₂ O)	✓ NIDに記載の家畜の窒素排せつ量、N ₂ O排出量データをCRTに反映する【透明性】。
3.B.5 家畜排せつ物管理（間接排出）(N ₂ O)	✓ NIDに記載の家畜の排せつ物からの揮散割合をCRTに反映する【透明性】。

審査結果（GHGインベントリー-LULUCF分野）



カテゴリー	内容
4. LULUCF分野全体（土地利用変化）	✓ 土地利用変化マトリクスの報告において、前年の最終面積と翌年の初期面積の値が等しくなる様に一貫性のあるマトリクスを提供する【一貫性、正確性】。 ✓ 統計情報に基づき、土地利用面積の著しい変化の要因をNIDに記載する【透明性】。
4.B.1 転用のない農地	✓ 一部の一年生作物と多年生作物の転換において、炭素ストック変化を推定していない理由を提供する【透明性】。
4.B.1 転用のない農地	✓ 果樹別の乾物バイオマス重量及びRS比の詳細情報を提供する【透明性】。
4.C 草地	✓ 異なるタイプの草地でいずれも（デフォルトの）バイオマスマストック量、年間ストック増加量を用いている理由を提供する【透明性】。
4.B-F.2 森林からの転用	✓ 森林からの転用（森林減少）の算定における、転用前の森林バイオマスマストック量の誤りを修正する【正確性】。

審査結果 (GHGインベントリー-廃棄物分野)



カテゴリー	内容
5.C.1 廃棄物の焼却 (CO ₂ 、CH ₄ 、N ₂ O)	✓ 廃棄物を焼却する際にエネルギーを回収する場合、廃棄物を原燃料として直接利用する場合、及び廃棄物を燃料に加工した後に利用する場合の排出量の算定に使用する活動量を報告する【透明性】。
5.D.2 産業排水 (CH ₄ 、N ₂ O)	✓ 産業排水の処理に伴うCH ₄ 及びN ₂ O排出量の算定に使用される活動量を更新し、2014年度以降の排出量を再計算する【正確性・一貫性】。